

弥生会計16の一部のソフトウェアがAvastでウイルスと誤認識される場合の対処法

ご注意：

当該作業を行い、不具合が生じた場合には当方はその責任を負えません。

あくまでご参考ということでお願ひします。

池之本欣哉

作業内容

- 1 Avastで誤認識しないように設定
- 2 弥生会計16でウイルスとして誤認識されたソフトウェアの再インストール

■ 1 Avastで誤認識しないように設定

まず、Avastのメニュー画面を表示します。

右下にあるアイコンでAvastメニューを起動させます。

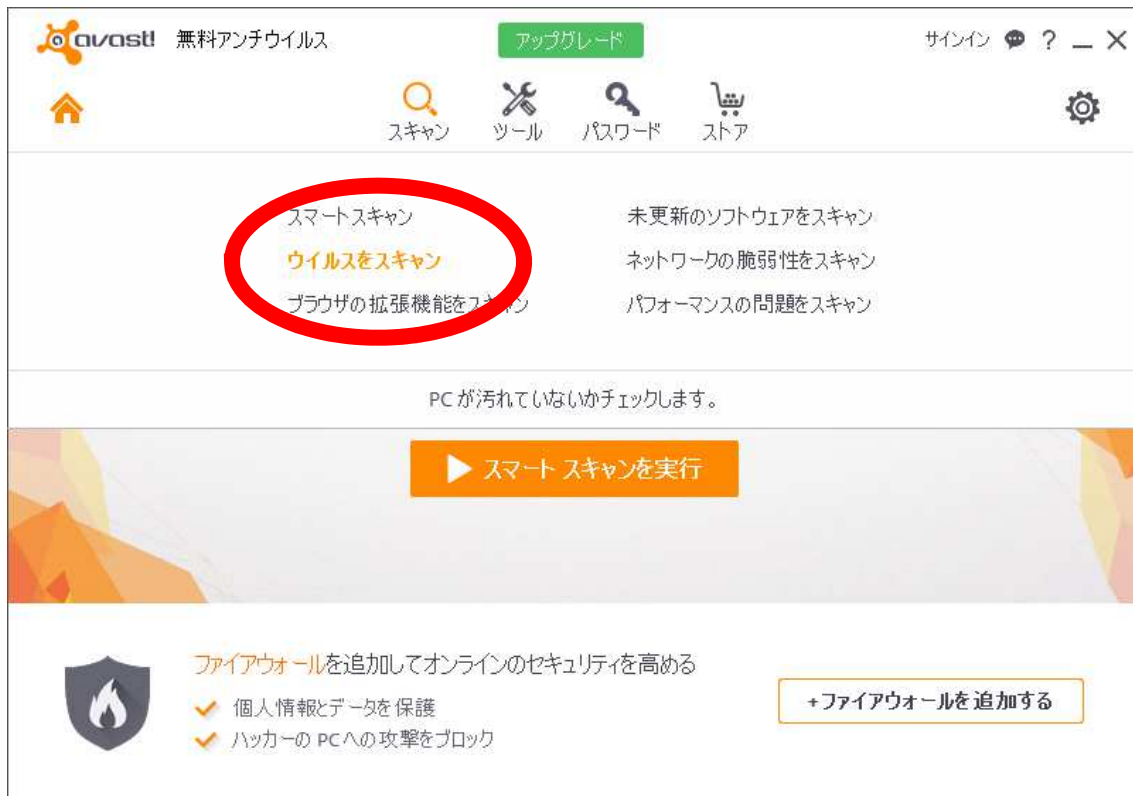




左上にある家マークが出ない場合には、メニューバー（三の字のように記載のあるもの）を探し、上記画面のスキャンアイコンを選択します（以下参考）。

（以下の画面の場合が、左上にメニューバーがありますので、そちらを押して上記画面にして下さい。）

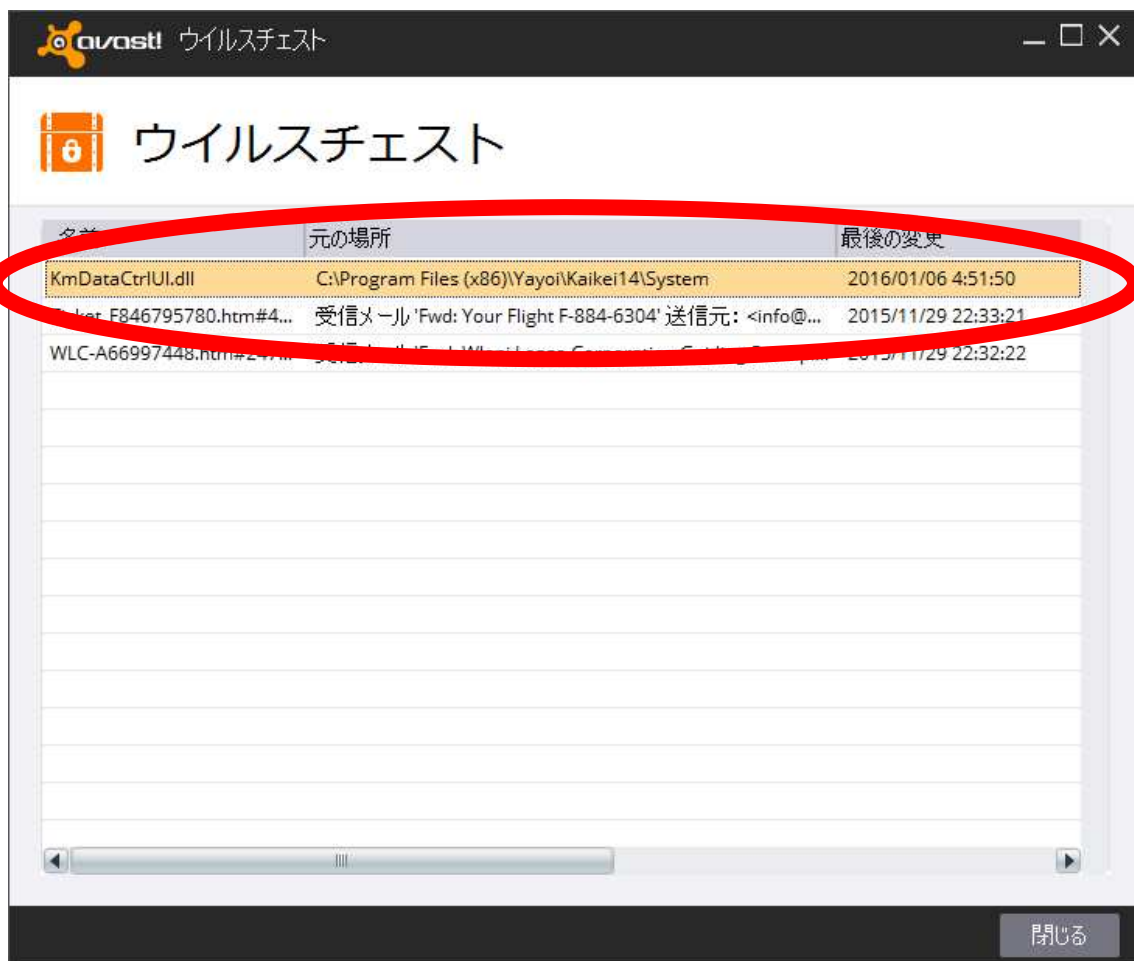




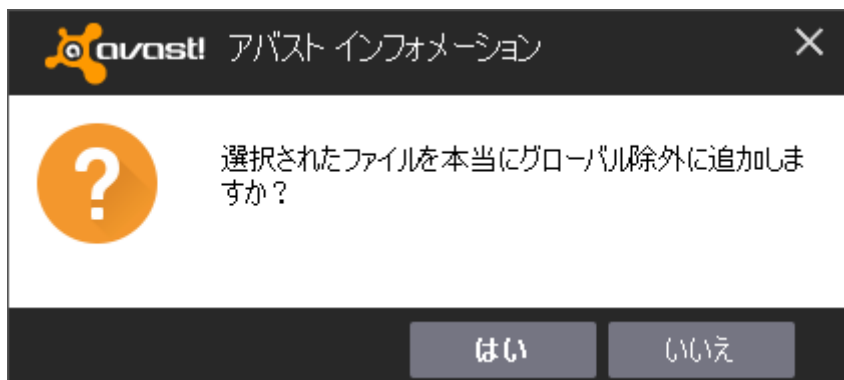
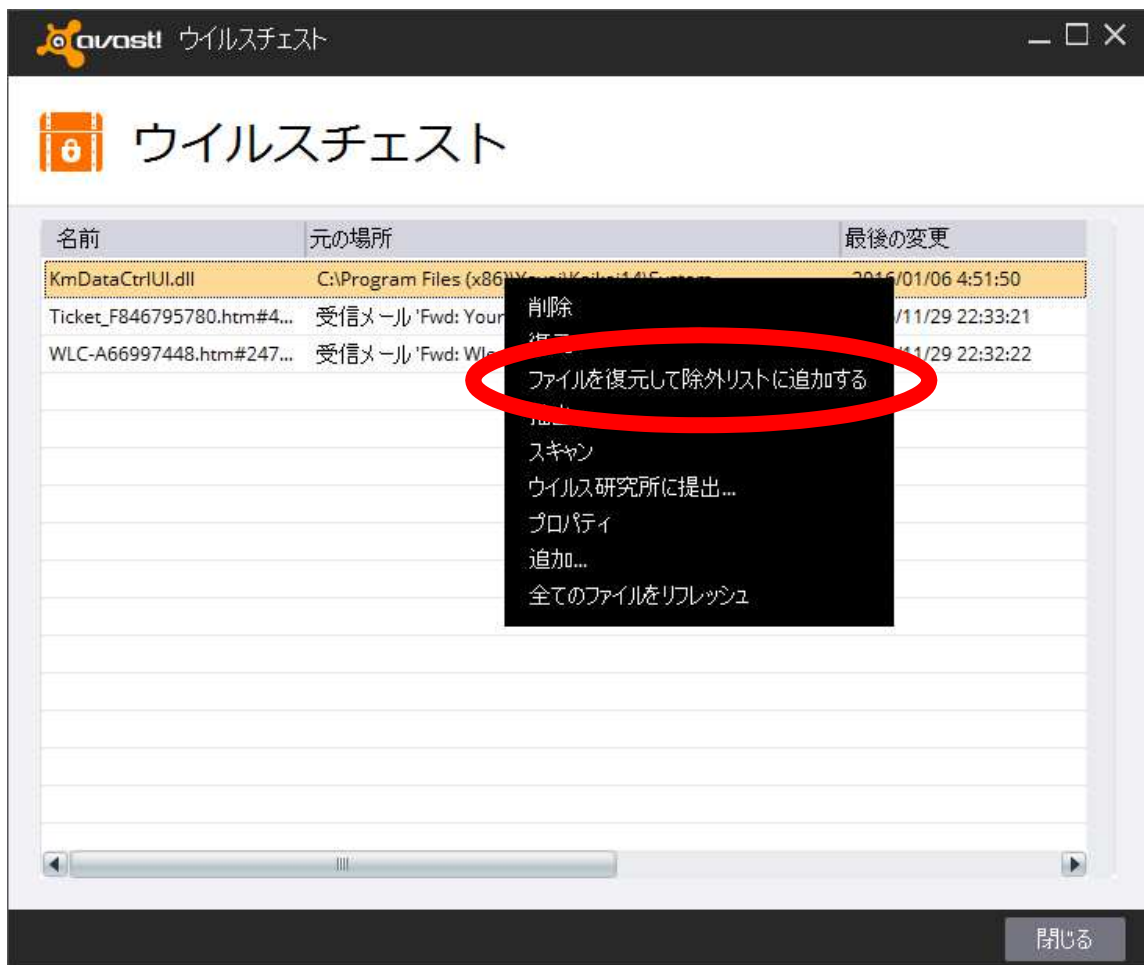
上記のようにスキャンアイコンを押すと，“ウィルスをスキャン”項目が表示されます。
その“ウィルスをスキャン”項目を選択します。
次の画面になります。



下部の隔離領域（ウイルスチェスト）を選択



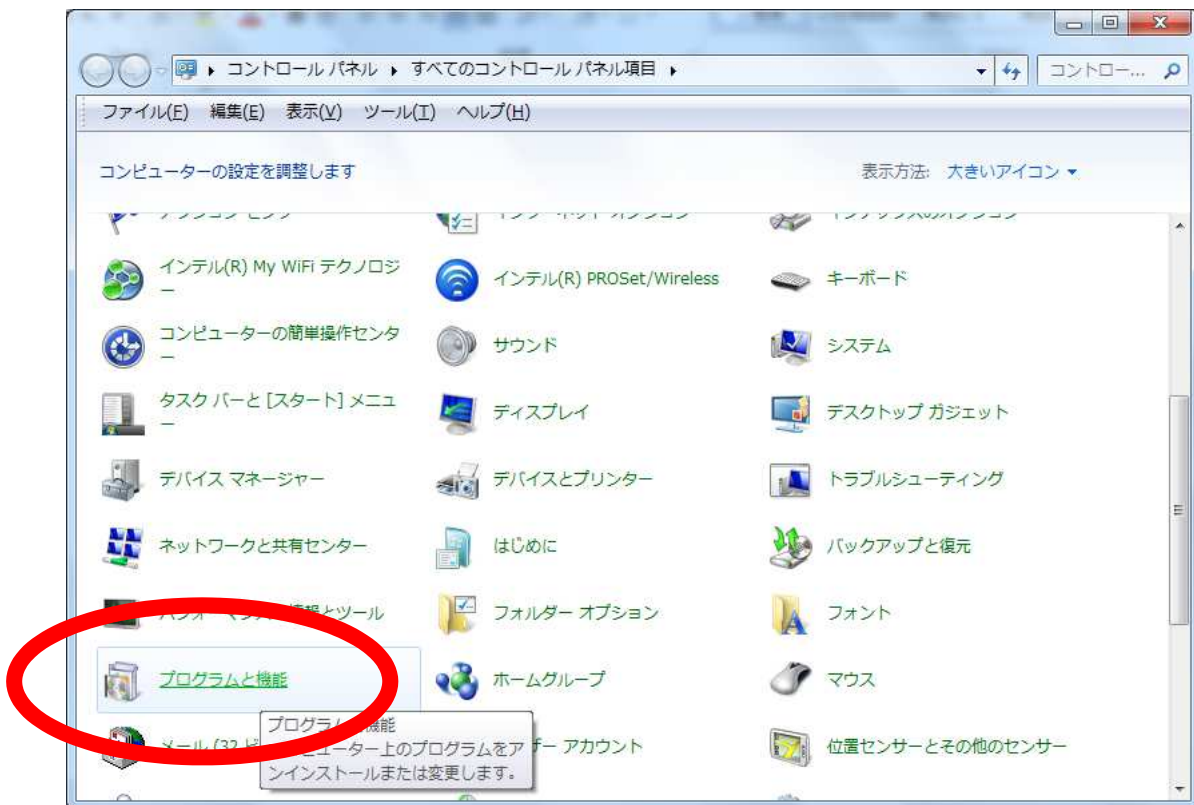
KmDataCtrlUI.dll を右クリックし、ファイルを復元して除外リストに追加するを選択。

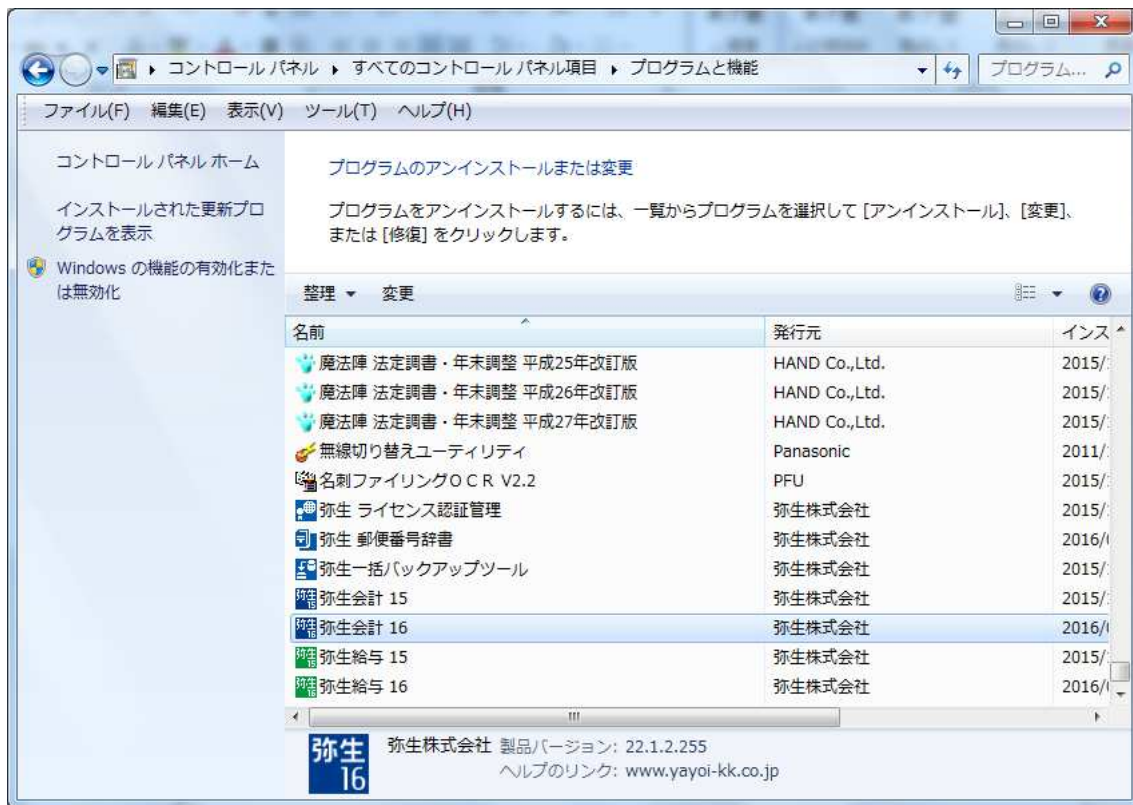


はいを選択します。

■ 2 弥生会計16でウイルスとして誤認識されたソフトウェアの再インストール

コントロールパネルから“プログラムと機能”を起動させます。





弥生会計 16 を探し、右クリックし、“変更” を選択します。
そうすると、次の画面になります。



次へボタンを押します。

修復ボタンを押し、修復作業を行います。





修復処理をすれば OK です。